



木曽林務課だより 9月

8月の大雨による災害がありました。雨が降るとキノコの話が聞こえるようになります。これからの時期、山に入られる方に再確認していただきたいお知らせです。

キノコ狩り等で山に入る際は、クマにご注意ください!!

クマは、これからの時期に冬眠に向けて食いだめをするためにドングリ類などの食べ物を探して、森を含めて大きなエリアを動き回ります。

近くにクマがいると思って行動を。

8月には木曽の山林内で、林内でのクマによる人身事故が発生しています。**山中はクマの生息地と認識して、山に入る際は、鈴、ラジオ等で音を出しながら行動しましょう。**また、クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに注意しながら引き返しましょう。

キノコ採りの場合、視線が地面に向いて視野が狭く、人の動きも小さくなってクマ鈴などが鳴らないことがあり、クマに気付かず遭遇する可能性が高くなります。**キノコに夢中になりすぎず、周囲に十分気をつけましょう。**

子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう（親子クマに注意）

母グマが子グマを連れている場合、母グマは、子グマを守るために人に向かってくることがあります。子グマを見かけたら、親がいると判断して**絶対に近づかないで、クマからできるだけ目を離さずそっと立ち去りましょう。**



0歳の子グマ(子犬くらいの大きさ)

クマを人に近づけないよう行動しましょう。

クマが人の食べ物を覚えると、集落に近づいてくる原因になります。**弁当の食べ残しやジュースの空き缶などをかならず家に持ち帰りましょう。**

ハチにも注意

秋にかけてスズメバチ類は巣が大きくなっていく時期で、その巣は地面の中にもあります。**ハチが周囲に来た場合は、近くに巣がないか十分に注意して行動しましょう。**

クマに出会わないことが一番の対策です。特にバツタリ遭遇が最も危険です。まずはクマに人の存在を知らせながら行動しましょう。